

令和4年10月3日

## 清々しい朝の風景

南九州市立浮辺小学校  
校長 石川 雅実

朝の登校指導を行っている時、毎朝いろんな楽しみに出会えます。子どもたちの元気な語先後礼の挨拶や停車して下さったドライバーの方々への感謝の言葉と会釈の光景に、いつも癒されます。また、わざわざ減速され、頭を下げてあいさつをして下さる保護者や地域の方々、トラックドライバーの方がおられます。

散歩ついでにゴミ出しに歩いていると、近所の方が軽トラの荷台にゴミを積みなさいと声をかけてくださいます。毎朝、本当に嬉しく、清々しい気持ちになり、私にとっては楽しい日課です。また、生きる喜びにもつながっています。

他者から見たら、大変そうだなと思われるようなことも、当の本人にとっては、案外楽しみだったり、生きがいだったりします。仕事や勉強なども心がけ一つで、楽しみにも苦しみにもなるのだなと思います。「心は天国をつくり、また地獄をつくる」というミルトンの言葉が浮かんできました。登校指導中にそんなことを考えました。

令和4年10月7日

## 初心を忘れず教職の道を歩む

南九州市立浮辺小学校  
校長 石川 雅実

本日、県公立学校教員採用試験二次合格者の発表があります。今日では県教育委員会のホームページで合否を確認することができますが、当時は郵送での通知でした。合格発表にまつわる自身の経験を懐かしく思い出しました。

もう34年前のことです。鹿児島市に住む母からの電話で合格の吉報を聞き、大喜びしたことを今でもよく覚えています。当時大学4年生で、埼玉県の小学校で教育実習中でした。翌日、指導担当の先生に合格の報告をすると「おめでとう。4月になれば、まだ見ぬ子供たちとの出会いが待っています。教育実習にも更に力が入りますね。」と、祝福と励ましの言葉をかけてもらいました。

教員採用試験に合格することは、とても難しいことです。しかし、教師であり続けることは、もっと厳しい道でもあります。私もあのときの感動と初心を忘れることなく、教職の道を精進していきたいと思います。

合格された皆さん、日々学び続ける教師になってください。

令和4年10月18日

## 実り多き秋を予感

南九州市立浮辺小学校  
校長 石川 雅実

全校朝会で「〇〇の秋」と書いた一枚の紙を子どもたちに見せて、そこに入る言葉を考えてもらいました。子どもたちは、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋等、様々な秋を考えてくれました。学習にも適した時期なので、「学問の秋でもあります。実りの秋になるといいですね。伸びる子の決意もかたし天高し」と、付け加えておきました。

いつものように授業参観をしていると、常日頃から授業改善に努力している先生方ですが、発問構成、板書の構造化、ICT機器の活用等、更に工夫を凝らした授業が展開されていました。また、懸命に学ぶ子どもたちの姿がそこにはありました。教児一体となって励む姿がありました。思わず各教室の前で足を止め、授業展開に見入ってしまいました。

受け身の姿勢では多くの収穫は期待できません。前向きな懸命な取り組みの中にこそ、大きな収穫が期待できると思います。教児共に学ぶ楽しさを追求する姿勢に、実り多き秋を予感しました。

令和4年10月19日

## 恩師の新聞投稿に胸を打たれる

南九州市立浮辺小学校  
校長 石川 雅実

10月19日付け南日本新聞ひろば蘭に「医師神社にコロナ禍収束を祈る」と題した投稿が掲載されました。私が小学6年時の担任の先生の投稿です。私が教職の道を目指した大きな契機ともなった憧れの先生です。十年ほど前に一度再会し、お酒を酌み交わすことができましたが、それ以来、年賀状だけの交流となっていました。元気に日々を過ごしていらっしやることが記載内容から読み取れました。

すぐにメールで連絡を取りました。先生は連絡をととても喜んでくださいました。また、私のつたない新聞投稿も読んでくださり、お褒めの言葉をいただきました。また、私の家族のことまで気にかけてくださり、いつまでも私の担任の先生でいてくださることに感謝しました。

先生と同じように一日も早いコロナ禍の収束を願います。そして、再会の機会を得て、先生を中心に思い出話に花を咲かせたいと思います。先生、これからも御自愛なさり、いつもでも元気でいてくださいね。